

はぐくみ講座「小学校へつなぐ」・10の姿

幼児期の教育と小学校教育をつなぐために

子どもが発達していく方向を意識してそれぞれの時期にふさわしい指導を積み重ねていく

長期的な見通しをもった子どもの育ち・学びの連続性

幼児期の遊びの中の学びを読み解く

- 何を大切に育もうとしているのか
- どんな手立てをしているのか
- どのような学びにつながっているのか

子どもの実態や課題

子どもの育ちや学びのつながりを共有する

- これまでに育ってきた資質・能力を踏まえる
- 教育を進めるため、育ちの連続性を共有する
- 幼児期の育ちを小学校での学びに生かす方法を共有する

小学校教育を参観し、学びを共有する

- 小学校教育の中で、幼児期に育まれた資質・能力をどのように発揮しているのかを共有する

互いの教育の内容や指導方法

幼児期の教育

健康

人間関係

環境

言葉

表現

学びに向かう力、人間性等

心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする

知識及び技能の基礎

豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、わかったり、できるようになったりする

思考力・判断力 表現力等の基礎

気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする

アプローチカリキュラム

経験カリキュラム

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

健康な心と体

自立心

共同性

道徳性・規範意識の芽生え

社会生活との関わり

思考力の芽生え

自然との関わり・生命の尊重

数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

言葉による伝え合い

豊かな感性と表現

児童期の教育

国語

社会

算数

理科

生活

特別の教科道徳

知識及び技能
生きて働く

総合的な学習の時間

学びに向かう力、人間性等
学びを人生や社会に生かそうとする

思考力・判断力 表現力等
未知の状況にも対応できる

体育

外国語

音楽

家庭

図画工作

外国語

特別活動

スタートカリキュラム

教科カリキュラム

授業の様子を参観する（子どもの様子や指導方法を考える）

保育の質の向上

園全体で共有体制

園長・校長のリーダーシップ

カリキュラムの開発・合同会議

幼保小接続の推進

保・幼・こ・小教職員の相互理解と実践

幼保小の協働

保育の様子を参観する（授業につながるポイントを知る）

自治体の支援

持続可能な協力体制

授業の改善

校内組織の立ち上げ

全国の流れ

幼保小の接続(現状)



接続を見通した教育課程の編成・実施がある市町村の割合は約3分の1にとどまる。

小学校教育との円滑な接続

=幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引きより(文部科学省)=

資質・能力の三つの柱と「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手がかりに！

中教審では

令和3年7月中央教育審議会に「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」を設置

令和4年3月「審議経過報告」

- ・5歳児～小学校1年生の2年間で「架け橋期」と位置づけ
- ・架け橋期におけるカリキュラム開発を幼稚園、保育所、認定こども園、小学校等の関係者により勧めることなど取りまとめる

めざす方向性

カリキュラム作成
体制作り

幼保小の接続架け橋プログラムとは？

☆幼児教育と小学校教育の双方から橋を架ける

※小学校教育の前倒しではない。

☆各地域や施設が創意工夫を生かして取り組む

※特定の活動を全国一律で行うものではない。

☆現行の要領・指針の内容を丁寧にしっかり取り組む

※要領・指針の改定はない。

※新しい内容に取り組むものではない。

「幼保小の架け橋期のカリキュラム」の開発、実施、評価・改善のイメージ

	1年目	2年目	3年目	
	フェーズ1 基盤づくり	フェーズ2 検討・開発	フェーズ3 実施・検証	
	3年目	フェーズ4 改善・発展サイクルの定着		
方針	○架け橋期のカリキュラム開発会議における準備 ・構成員の選定と目指す方向性の共有 ・地域の実態の把握 (開発会議は自治体に設置)	○架け橋期のカリキュラム開発会議における検討・開発 ・方針の検討・決定、開発への支援 ・国による架け橋期の教育の質保障の枠組みとの連携開始 (モデル地域対象)	○架け橋期のカリキュラム開発会議による実施の検証 ・実施状況の把握・検証と支援 ・国による架け橋期の教育の質保障の枠組みとの連携推進 (モデル地域対象)	○持続的・発展的な架け橋期のカリキュラム開発会議の運営 ・方針の改善・発展と支援 ・国による架け橋期の教育の質保障の枠組みとの連携強化 (モデル地域対象)
具体化	○接続を見通し、各園・小学校で教育課程編成・指導計画作成 ・園・小学校での活動の共有 ・子どもの交流	○架け橋期のカリキュラムの検討・開発 ・共通の視点をもとに内容の検討・開発 ・人やものとの関わりを通じた学びを踏まえ、教材としての環境の共通性の理解 ・子供の交流の推進	○架け橋期のカリキュラムの実施・検証 ・園・小学校において教育課程編成・指導計画作成、実施・検証 ・人やものとの関わりを通じた学びを踏まえ、教材としての環境の活用 ・子どもの交流の充実(子どもの自発的な交流等)	○持続的・発展的な架け橋期のカリキュラム ・持続的・発展的な架け橋期のカリキュラム ・人やものとの関わりを通じた学びを踏まえ、教材としての環境の活用の充実 ・持続的・発展的な子どもの交流実施(子どもの自発的な交流等)
園・小学校	○各園・小学校での体制 ・連携窓口の明確化 ・自園・自校の先生への意識啓発と参画	○幼保小間の体制 ・幼保小の合同会議の設置 ・相互の教育の内容や方法に関する理解の共有	○幼保小間の協働実施の体制 ・幼保小の合同会議の充実 ・相互の教育の内容や方法に関する理解の深化	○持続可能な体制 ・幼保小の合同会議の定着 ・相互の教育の内容や方法に関する理解の改善・発展
自治体	○連携強化への支援 ・研修の実施(幼保小合同研修等) ・自治体内の関係部局との連携	○持続に向けた支援 ・研修の推進、研修教材の開発 ・関係機関との連携を深め、園・小学校と関係機関・関係団体との連携のコーディネート	○幼保小の協働実施の支援 ・研修の推進、研修教材の活用 ・実施上のニーズの把握と支援 ・園・小学校と関係機関・関係団体との連携のコーディネートの充実	○持続的・発展的な取組を支える支援の定着 ・研修の推進、発展、研修教材の改善・発展 ・必要な支援策の改善・発展 ・園・小学校と関係機関・関係団体との連携のコーディネートの改善・発展